

博士前期課程（修士） / 実践看護学領域 / 成人看護学分野 科目コード：240018 腫瘍放射線医学特論					
担当教員	牧野 智恵（随時、予定を確認の上訪問する）				
実務経験					
開講年次	1年次通年	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	15		
Keywords	放射線腫瘍学、密封小線源治療				
学習目的・目標	根治療法および緩和療法としての放射線療法の適応や、治療計画および線量測定の原理を理解する。放射線治療の急性作用と遅発性作用の両方を把握する。（本科目は、e-learningとがんセンターボードの講義、演習によって単位を修得することが可能）				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1	総論			e-learning	高仲強
2	放射線生物学				塩浦宏樹
3	放射線腫瘍学・治療学各論				的場宗孝
4	密封小線源治療				小川心一
5	アイソトープ治療(内容療法)				絹谷清剛
6	放射線治療を受ける患者の看護				小川外志江
7	外来放射線治療中の患者に関するがんセンターボードへの出席			講義	
8	放射線療法におけるがん看護			演習	牧野智恵
教科書	指定しない				
参考図書等					
評価指標	1.1～6回までの内容については、がんプロ.com（http://www.gan-pro.com）の評価基準に準じたe-learningの成績とがんセンターボード症例検討会出席状況から成績判定する。 各回毎に講義を聴講の後、確認テストを受験し、合格した上で、がんセンターボードの講義を受けることができる。 2.「放射線療法における看護の課題」に関するレポートの内容。				
関連科目					
教員から学生へのメッセージ	北陸がんプロ開講科目のeラーニングによる授業であるため、視聴に必要な手続きをとること。				